



# Literature Goes to School

小學入門教授圖解第三

御届明治十年月日  
出板人通三自林鉄次郎

## 明治・大正期を中心 教室の中の文学

Literature Goes to School

神奈川県立文学研究所主催シンポジウム

図版出典：『小学入門教授図解』鮮育永濯画 1877年  
国立教育政策研究所教育図書館貴重資料デジタルコレクション (<https://www.nier.go.jp/library/rarebooks/teaching/K110-1.54/>) を加工して作成

2022年9月3日(土)  
14:00-16:30

神奈川県立みなとみらいキャンパス 1F 米田吉盛記念ホール (オンライン併用)

- プログラム
- 13:30 開場
  - 14:00-14:10 開会の言葉 村井まや子 (神奈川県立外国語学部教授)
  - 14:10-14:30 「教材としての文学 — 明治と大正の教育者が欧米に学んだこと」  
オータバシメレック (サイモン・フレイザー大学准教授、神奈川県立海外招聘研究者)
  - 14:30-14:50 「博文館『少年文学』叢書の受容：『二重の顧客』にむけての戦略」  
柿本真代 (京都華頂大学現代家政学部准教授)
  - 14:50-15:10 「戦前期口演童話について — 叢書『実演お話集』を手がかりに」  
宮路大朗 (早稲田大学大学院教育学研究科修士課程)
  - 15:10-15:30 「日本児童図書館の黎明期」  
加藤節子 (東京子ども図書館司書)
  - 15:30-15:40 休憩
  - 15:40-16:30 ラウンドテーブル・ディスカッションおよび質疑応答  
講演者+鈴木宏枝 (神奈川県立外国語学部教授)  
司会：村井まや子

参加費は無料で、どなたでもご参加いただけますが、参加には事前申し込みが必要です。  
参加ご希望の方は、8月31日までに下記の参加申し込みフォームからお申し込みください。  
<https://forms.office.com/r/G4fMzt6ffX> こちらからも申し込みができます➡



お問合せ先：murai@kanagawa-u.ac.jp (村井まや子、神奈川県立文学研究所「おとぎ話文化」共同研究グループ代表)